

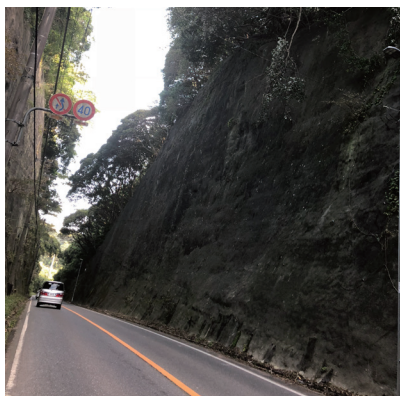
質問3 道路の安全確保について

Q1 国道410号の整備を県へ強く要請していただけないか伺います。

A 館山市から、本路線を管理している安房土木事務所に対し、切割部拡幅による歩道整備を含め、幅員の狭い区間や歩道未整備区間といった具体的な危険箇所の解消及び適切な維持管理について、要望していきたいと考えています。

Q2 国道410号の房南学園前に、児童生徒の安全な横断のために表示をしてもらえよう、県、警察へ働きかけをしていただけないか伺います。

A 「館山市学校安全プログラム」に基づき、学校からの報告を受け、警察、県と情報交換を行い、対策について検討していきます。



国道410号は、市の管理下にはありませんが、市民の生活にとっては大切な道路です。夏の間、草が生い茂り、交通事故の原因ともなっています。管理を強化するよう、安房土木事務所に強く要求していただきたいと思います。

質問4 旧神戸小学校、旧富崎小学校の跡地利用について

Q1 旧神戸小学校、旧富崎小学校の跡地を今後、市としてどのようにしていくおつもりなのかを伺います。地域住民が旧校舎を利用することができるのか、あるいは他の利用法をお考えなのか伺います。

A 旧富崎小学校の跡地については、市職員で構成するプロジェクトチームが地域と話し合いを進めており、今年度末をめぐり方向性をまとめたい。旧神戸小学校については、プロジェクトチームと神戸地区とで協議・検討していきたいと考えています。

Q2 跡地の草刈りなどの管理は現在住民のボランティアで担われています。市有地の管理は本来市で行うべきと思いますが、どのようにお考えなのか伺います。

A 利活用策が決定するまでは、引き続き、地域の方が利用する物と考えていますので、草刈りなどの管理についてのご協力をいただきたいと思います。



市は両校の校舎の耐震強度不足を理由に使用を禁止しています。利活用策が見つからないまま、草刈り等の管理は地域任せになっています。廃墟となった校舎を草だらけで置いておくわけに行かないので、地域のボランティアが管理をしています。地域との話し合いを進め、利活用の方向性を早く見つけて欲しいと考えます。いずれにしても、これからのキーワードは地域です。けれども、何事も地域のボランティア任せではなく、市が主体となって取り組んでほしいと考えます。

館山二中と三中の統合について

今回の市議会の直前に発表され、多数の議員が質問した問題です。三中の校舎の耐震強度不足が判明し、対策が検討されてきました。当初は、耐震補強や仮設校舎を建てて建て替え工事を行うなどの案が検討されたそうです。しかし、財源の問題や、仮設校舎を建てることでの無駄な出費、グラウンドが使えなくなることなどの不便さを考慮し、三中の生徒を一時他へ移動させ、その間に今の校舎を建て替えるという方法をとることになりました。三中の生徒を収容できる大きさの施設として二中が浮上し、二中三中が統合する提案となりました。

これまでの話は、三中の生徒のより安全な環境を確保するということでやむをえない選択であると考えます。しかし、その場しのぎの対策で、大きな流れが決まってしまったこと、市内の教育環境をどのようにしていくのかというビジョンの上に立ったわけではなく、場当たり的な対策で未来につながる大きなことが決定されてしまっていることに不安を感じます。

統合により、1学年7クラスの大規模校が誕生します。残る1中は1学年2クラス、房南中は1学年1クラスの小規模校です。教育環境に大きな違いができます。これを市としてどのように考えていくのか、長期的にどのようなビジョンをもって教育環境を整えていくのか、しっかり議論したいところです。

おわりに



市議会議員になって2か月。学ばなければならないこと、知らなければならないことがたくさんあります。謙虚に学び、誠実に取り組む姿勢を貫いていきたいと思っています。

自然豊かで、海も山もあって、気候も温暖な館山は、人が暮らすには最高の環境です。もっとたくさんの人が集まって活気のある街にできるはず。誰もが住みよい街づくりのため、今後とも皆様方のお知恵とお力をお貸しいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

